深刻！待機児童

「保育園に落ちた」件数は過去最高
国定義で37件+実質31件。計68件

待機児は57人が2歳未満児
きょうだい別々の入所は25件

新年度の保育所入所通知が各家庭に郵送されました。第1希望が叶った人、叶わず他園での入所やきょうだいが別々の園に決定した人、入所できなかった人とまさに悲喜こもごもです。待機児童は68人と過去最高。一方、育休明け予約の件数は138件で、来年1月以降の入所が27人もいます。日本共産党は、その間の空き席の活用も含め、待機児童対策を求めています。

教育・保育提供区域として全市を1区と設定

知立市は、子ども・子育て支援事業計画の中で、「教育・保育提供区域」を設定しています。これは、地理的条件、人口、交通事情などを総合的に勘案し、保護者や子どもが居宅から容易に移動することができる区域と説明し、知立市は歴史的にも町全体での結びつきは十分であり、「市全体を1つの区域」として設定しました。つまり、この提供区域内なら、どこからでも、どの保育園も利用しやすいと位置づけています。

（保育所入所者数と定員2019年２月１日現在）

保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	定員数
知立	10	14	15	19	14	20	92	97
来迎寺	12	28	27	41	41	40	190	177
上重原	5	15	24	33	28	28	133	174
知立南	7	20	29	43	45	40	184	200
逢妻				15	10	8	23	60
高根	4	12	20	2	21	21	99	97
新林	3	10	23	35	35	38	144	167
八橋	8	16	19	28	28	24	123	179
宝	8	18	23	22	21	22	114	116
上重原西	9	20	22	29	38	26	144	180
なかよし	15	20	19	7	27	29	117	220
徳風	9	24	30	40	35	38	176	200
猿渡	18	28	28	40	40	41	195	200
さくらんぼ	6	4	4				14	12
華の子	3	4	7				14	12
合計	117	233	290	363	383	376	1762	2093
待機児童	5	42	10	10	1	0	68	
国定義	4	33	10	0	0	0	37	
実　質	1	9	0	10	1	0	31	

提供区域に1つでも空きがあれば待機と認めず

入園申請では第1～3希望を書きますが、審査結果でそれ以外を指定される場合もあります。「通園できない」と入園をあきらめても、市全体を提供区域としているため、国定義の待機児童にはならず、市は「実質」待機と位置づけます。左表が、2019年度の入園児童と待機児童の見込み一覧です。国定義の待機は3歳未満児が37人、それ以外の実質的な待機は31人、いずれも増加し、深刻です。また、きょうだい別々の保育園入所になり、0歳児を自転車で遠くの保育園に送迎する人も出ます。



育休明け予約138人の分析が必要では

育児休職している人には、育休明けの入所予約ができます。知立ではその数138名、その中、来年1月から3月の予約が27名です。実質、保育枠は空いているのに入れない現状は改善すべきです。

国会要請

文部科学省に「日本語指導の充実」を要望

共産党市議団は２月15日、衆議院会館を訪れ外国人児童生徒への日本語指導について文科省担当と懇談。知立市は年々、日本語指導が必要な子どもが増え、小学校は2009年度3.8%・159人から19年度7.6%・306人に。中学校は09年度1.8%(36人)から19年度5.8%112人に。市議団は、特に全校児童の68.8%、212人の東小学校について「日本語指導教員9名の他、市単独の日本語指導助手１名、通訳２名の配置、また早期適応教室（杜若教室）で指導しているが対応が追いつかない。国の施策充実と支援を」と要望しました。文科省は「数字を伺い驚いた。国は、17年度から10年かけて日本語指導教員を18:1で定数化する。配置は県に要望を。通訳や日本語指導教室への補助制度はある。十分に活用を」と回答。懇談には、日本共産党の畑野君枝(文部科学委員)、本村伸子(総務委員)両衆議院議員も同席。



文科省と懇談する 畑野君枝、本村伸子両衆院議員 佐藤修、牛野北斗両市議、中島前市議(奥から)